

平成25年度 第13回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成26年3月25日(火)
開会 午後2時
閉会 午後3時
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 武 井 勝 彦
委員長職務代理者 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
委 員 會 田 直 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 小 野 祐 一 郎
教 育 総 務 課 長 高 須 利 幸
学 校 教 育 課 長 滝 口 次 郎
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 榊 原 孝
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成26年4月25日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

武井委員長 平成25年度第13回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成25年度第12回定例会議会議録承認

(署名人：武井委員長， 曾田委員)

3 教育長報告

・今年度は教育委員会制度についての改革案が示されるなど，今後の制度改革に注目が集まる年となった。今後の推移に注視していく。また，幼稚園・小中学校が無事に修了式を終えた。

・3月4日から「とみの国検定」の合格証の配付を行った。今年度の合格状況は，漢字が94.4パーセント，計算が96.2パーセントであり，少しずつ向上している状況である。

・3月7日，スイカロードレース大会Tシャツデザイン表彰式が行われ，富里小学校6年生の児童が最優秀賞に選ばれた。

・3月10日から年度末の教育長・校長・園長面接を実施した。

・3月12日，社会教育委員会議が行われ，生涯学習関係のとみさと教育プランについて協議した。また，就学区域審議会も行われ，学校適正配置検討委員会の答申内容を報告した。

・3月14日，教育長，校長第2次面接を行い，教職員人事異動について，北総教育事務所と確認作業を行った。人事異動事務については引き続き行う。

・3月13日，富里中学校の卒業式に出席した。

・3月18日，3月定例議会最終日を迎え，全議案が可決され，閉会した。また，全員協議会の場で富里市ジョイントスクール構想，学校適正配置検討委員会答申について報告した。

・3月19日，七栄小学校の卒業式に出席した。

・3月20日，定期監査講評が行われ，教育委員会関係では備品と備品台帳の管理について指摘があった。また，学校給食センター運営委員会が行われ，食器の選定などを行った。

・3月24日，平和を考える作文コンクール表彰式が行われ，富里南中学校1年生が市長賞を受賞，富里北中学校3年生が教育長賞を受賞した。

・3月27日午後，福祉センターで教職員辞令伝達式が行われるので，委員長の出席についてよろしく願います。

4 教育委員報告

委員 3月13日、富里北中学校の卒業式に出席した。校舎の内外は清掃され、桜草などの花が綺麗に咲いていた。後日、話を聞くと、校長先生が自ら種を蒔いて育てたと聞いた。一言でいえば素晴らしい卒業式であった。卒業生の凛々しい姿はもちろん、在校生の態度、歌声に感動した。中学校生活最後の日を迎える卒業生、保護者は幸せな一日であったと思う。その姿を見た在校生は、しっかりと心に焼き付けたことと思う。

3月14日、向台幼稚園の卒園式に出席した。卒園生は、式の前日までインフルエンザや胃腸炎などの影響で休みであった。在園生は、式の当日を休みとしたため予定通りの卒園式とならなかったことを先生方は残念に思っていたとのこと。卒園生の何人かは、入場するときから泣きながら歩いていた。今日が最後の日だと思い、幼い心にも寂しさを感じているのだなと思った。先生方との心の絆がうかがわれた。子供たちの涙をみて園長先生が涙する姿は、親身になって子どもたちを見守ってきたことを感じる場面であった。式では子どもたち一人ひとりから証書を保護者に渡す場面があった。にっこり頭を撫で受け取る保護者、泣きながら抱きしめる保護者がおり、とても引き込まれる式であった。

3月19日、根木名小学校の卒業式に出席した。卒業証書をもらう場面では、安全に空の旅を楽しんでもらえるような女性パイロットになりたい、いい家だなと思って住んでもらえる家を建てる大工になりたいなど、子どもたちが一人ひとり将来の夢を話した。子どもらしい素直な夢を堂々と話す姿に感動を覚えた卒業式であった。在校生の歌声は大きく、卒業生がその歌声に応え、歌う姿は立派であった。卒業式は、卒業生、保護者、在校生、先生方にとって大切な行事である。今までの学校生活の雰囲気や人のつながりを感じ動的に感じる式に参加でき、自分にとっても大切な行事となった。

委員 3月13日、富里南中学校の卒業式に出席した。インフルエンザなどが流行し、卒業生の学級が閉鎖になるなど、全生徒が1箇所集まって練習する機会は設けられなかったとのこと。全校生徒が集まるのは卒業式が初めてということであったが、心配を感じられない素晴らしい卒業式であった。答辞の中には3年間の思い出、伝統を守り、新たな伝統を築くために全力で臨んできたこと、部活動などでは、うれしいこと、くやしいことも一緒に汗を流した仲間と共有してきたこと。先生方、両親、地域の人たちに支えられてきたことへの感謝などが綴られており、感動的な式で最後は素晴らしい合唱で式が締めくくられた。義務教育を終え新たな一歩を踏み出すが、自分達の力で切り拓いてほしいと感じた。

3月19日、富里小学校の卒業式に出席した。富里小学校は124名の卒業生であった。入場する姿、卒業証書を受け取る姿は頼もしく見えた。一人ひとりがしっかりと返事する姿、気持ちのこもった門出の言葉など素晴らしいお別れの式であった。お別れの言葉の中にこれから希望をもって旅立とうとする決意など、一人ひとりに感じられた。中学校に進学しても頑張っていたいただきたいと思った。

委員 3月14日、富里幼稚園の卒園式に参加した。直前までインフルエンザ等で学級閉鎖があり、練習もほとんどできない状況で心配されたが、当日は1人欠席の64名で卒園式が行われた。修了証書を受け取るまで1時間余りの式であったが、行儀よく乱れることがなく立派な式であった。園長先生の式辞は、第一声から声を詰まらせて先生の気持ちを感じ、感動を覚えた。市長の祝辞や自分の祝辞のときに、卒園おめでとうという言葉が卒園生にかけると、ありがとうございますと応え、とてもほほえましさを感じた。お別れの歌では卒園生が歌いながら段々と涙を流し、その涙をぬぐいながら歌う姿に目頭が熱くなった。先生方がしっかり指導し、指導を受けている園児も先生方を信頼し、素晴らしい式であった。小学校に進学してもなお一層健やかに育ってほしいと思った。

3月19日、富里第一小学校の卒業式に出席した。インフルエンザ等の影響で練習がほとんどできない状況であったと聞いた。

式当日は、25名の卒業生であったが1名が欠席となった。校長先生の式辞で「雨ニモマケズ」と言ったときに、卒業生が一斉に起立し、暗唱で雨ニモマケズを読み上げた姿は、素晴らしいと感じた。卒業生が別れの言葉をステージに上がって行ったときに3名ほど体調不良で列から外れるシーンもあったが、その後、席に戻り、最後の退場まで無事に式が行われた。中学校にいても頑張っていたいただきたいと思った。

武井委員長 3月14日、浩養幼稚園の卒園式に出席した。卒園生は10名、4歳児は9名で小規模の卒園式であったが、ほのぼのとした式であった。

進行の先生は、一人で司会、音楽をセットしたり、ピアノを弾いたり、大変であったと思う。一生懸命さが感じられた。幼稚園の経営方針の中に地域と共生する幼稚園作りとあるが、地域の人から支援されていることを多く感じられた。壇上や来賓控室の活花などは地域の方がこの日のために自分の庭から持ち寄った花であるとのこと。大変ありがたいことだと思う。

3月19日、富里南小学校の卒業式に出席した。卒業生86名のうち1名が欠席であったが、85名の児童が元気よく卒業証書を受け取る姿

を見て6年間の成長を感じた。国歌や校歌を歌わない児童がいて心配をしたが、別れの言葉では、在校生と向かい合い、とても大きな声で言えた。

先生に伺ったところ1人では力を発揮できるのだが、みんなといるとできないところがある児童であるとのことであった。子どもの個性がそれぞれ違う中、指導した先生方に対し、感謝の念を抱いた。

5 専決処分の報告

(1) 行事の後援について(生涯学習課)

國本教育長 報告第1号は、子育てサポートの会が主催する、発達障がいのある子への支援「いじめ、不登校に陥る前に、是非してほしいこと」～学校の先生ができること～の後援について、平成26年2月20日付けで承認したものである。

<質疑等>

質疑等なし

6 議案

武井委員長 議案第1号から議案第7号までについて、提案者である國本教育長から提案理由の説明を求める。

國本教育長 議案に対する提案理由について説明をする。

議案第1号 教育委員会事務局職員の人事異動については、関係規則の規定により議決を求めるものである。

次に議案第2号は、平成26年度とみさと教育プランの策定に当たり議決を求めるものである。

次に議案第3号 富里市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定については、国が定める要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱と整合を図るなど所要の整備を行うため議決を求めるものである。

次に議案第4号 富里市立小学校及び中学校教職員の人事異動の内申については、関係規則の規定により議決を求めるものである。

次に議案第5号は、学校適応専門指導員の任命について議決を求めるものである。

なお、任期は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までである。

次に、議案第6号は、社会教育指導員の任命について議決を求めるも

のである。

なお、任期は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までである。

次に、議案第7号は、旧岩崎家末廣別邸保存活用基本構想策定委員会設置要綱の制定について議決を求めるものである。

よろしくご審議の上可決されるようお願いする。

武井委員長 議案は個別に審議する。

(1) 議案第1号 教育委員会事務局職員の人事異動について

教育次長 教育委員会事務局職員の人事異動については、配布資料のとおりである。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第1号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(2) 議案第2号 平成26年度とみさと教育プランの策定について

教育次長 平成26年度とみさと教育プランについては、前回会議で協議いただいたとおりである。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第2号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(3) 議案第3号 富里市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について

学校教育課長 富里市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定については、前回会議で協議いただいたとおりである。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第3号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(4) 議案第4号 富里市立小学校及び中学校教職員の人事異動の内申について

学校教育課長 富里市立小学校及び中学校教職員の人事異動の内申については、配布資料のとおりである。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第4号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(5) 議案第5号 学校適応専門指導員の任命について

学校教育課長 学校適応専門指導員は、図書館に設置するふれあい教室（学校適応指導教室）で生徒指導を行う。2名定員のところ1名を新任とする提案である。新任者は、幼稚園教諭を経て児童家庭相談員を経験し、昨年度は成田市で少人数関係の指導を行っていた。新たに心理の資格をとったことで適任と考え、任命について提案するものである。

また、ふれあい教室については、平成26年度からふれあいセンターとして、いじめ、教育相談、学校適応について総合的に対応できるセンター化を計画している。いままで学校教育課で行っていた教育相談をふれあいセンターで行う。新たにいじめ教育相談担当として学校専門指導員を非常勤で雇用し、4名体制で対応していく。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第5号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(6) 議案第6号 富里市社会教育指導員の任命について

生涯学習課長 現在の社会教育指導員が平成26年3月31日をもって任期を満了するため新たな任命について提案する。武藤氏は、昭和50年4月から平成25年3月まで千葉県内の教員として活躍された。平成25年度の子育て学習会の講師を務めていただいている。ご審議の上可決されるようお願いする。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第6号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(7) 議案第7号 旧岩崎家末廣別邸保存活用基本構想策定委員会設置要綱の

制定について

生涯学習課長 旧岩崎家末廣別邸の整備状況については、敷地内に繁茂した竹の伐採を行い、敷地の全貌が明らかになった。

平成26年度は、建物の公開に向けた保存活用の基本的な考え方をとりまとめる。各専門分野の大学教授の力を借りて基本的な構想を作っていくための保存活用基本構想策定委員会の設置にあたり要綱を作成する。委員として5名、1年間に4回ほど会議を開く予定である。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第7号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

6 報告事項

(1) 月例報告（各課等）

教育総務課

- ・ 3月18日に3月議会が閉会した。
- ・ 3月20日は、定期監査の講評があった。
- ・ 4月1日は、教育委員会臨時課長会議を予定する。
- ・ 4月11日は、学校配当予算説明会・教頭会議を予定する。
- ・ 4月の定例会は、印旛郡市地方教育委員会連絡協議会定期総会の関係で25日午後2時から開催する。

学校教育課

- ・ 3月の行事は、校長・園長面接を行い、卒園式、卒業式が行われた。
- ・ 3月27日は、教職員辞令交付、伝達式がある。
- ・ 4月7日は小中学校の始業式、8日は中学校入学式、9日は小学校入学式、10日は幼稚園の入園式を予定する。
- ・ 4月22日は、文部科学省実施の学力学習調査が行われる。

学校給食センター

- ・ 3月20日に給食終了、学校給食センター運営委員会を開催した。
- ・ 4月10日から1学期の給食を開始する。

生涯学習課

- ・ 3月6日、第2回富里市外国語推進事業実施協議会合同会議が行われ、平成25年度事業の反省、次年度に向けての工夫など協議を行った。

- ・ 3月12日，家庭教育学級長会議及び親力UP講座が行われた。

図書館

- ・ 3月14日，第2回図書館協議会会議を開催し，平成26年度の運営方針等について承認を得た。
- ・ 3月15日，第3回富里歴史講座「旧岩崎久彌別邸」を行った。
- ・ 3月25日，26日は，特別映画会を実施する予定である。
- ・ 3月26日，一日まるごとおはなし会を実施する計画である。
- ・ 4月から祝日の開館を行い，利用者の便を図っていきたい。

8 その他

(1) 学校適正配置検討委員会の答申後の進め方について（教育総務課）

教育総務課長 議会に対し，3月11日の文教厚生常任委員会，18日の全員協議会で学校適正配置検討委員会から答申があった旨を報告した。

答申内容は，子どもたちの教育環境を考えていくと複式学級を解消するよう取り組み，複式学級の解消が見込めないときは統合をしていくことが妥当であるというものである。この答申内容は，教育委員会で以前から考えてきた進め方に合致する。

諮問した①3中学校区体制の維持について②複式学級の解消、学校統合の必要性について③南部地域の小学校適正配置についての内容に対して一つずつ協議をして，教育委員会の進む方向を決めていただきたいと考える。これに伴い地元への説明を進めたいと考えている。

委員 次回の定例会で協議を行うので答申をじっくり読んでいただきたい。答申内容を尊重して慎重に協議をしていきたいと考える。

武井委員長 地元で説明するというのは，答申の内容について説明に行くのか。

教育総務課長 地元とは学校適正化配置検討委員会の設置以前から洗心小学校在り方検討協議会で会議をしている。子育て支援課で行っている子育てニーズ調査の結果と学校適正配置検討委員会の答申内容を合わせて聞きたいと要請を受け，5月ごろに洗心小学校在り方検討協議会を地元で開催する予定である。

(2) エレベーター設置要望について（教育総務課）

教育総務課長 エレベーターを必要としている児童生徒が在籍する学校にエレベーターの設置を求める要望があった。教育委員会では，エレベーターを設置する必要があると考えているが耐震化工事等を進めており，今後，計画的に推進していけるよう取り組んでいくと1月17日に回答した。その後，3月17日に要望者と面談した際，耐震化工事の関係で財源的な面からも早急なエレベーターの設置は難しいため，

エレベーターの設置がある学校への通学を勧めたところである。

要望者は、拠点校という形でエレベーターを設置するのではなく、エレベーターを使用する必要がある子どもがいる学校に整備をすることが教育の公平性を保つのに必要ではないか。この回答書では納得できない、通学している学校でエレベーターが無くて困っているので、設置ができるような方法を考えて、できる方向で進めていただきたいとのことであった。

教育委員会としてどのような形で話しあっていかなければならないか、今後協議させていただく。

9 委員長閉会宣言

武井委員長 以上で、平成25年度第13回富里市教育委員会定例会議を終了する。